

かきつね
かきつね
かきつね
かきつね

かきつね

かきつね

かきつね

かきつね

かきつね

かきつね

かきつね

かきつね

かきつね

かきつね

かきつね

かきつね

かきつね

かきつね

かきつね

かきつね

かきつね

かきつね

かきつね

かきつね

かきつね

かきつね

かきつね

年月不詳廿一日付け仙石忠政書状（仙石家17—13号）

返々、あい候て
ほめ可申候、く、
かしく、

貴殿事、きように

（灸）

きうをすへ候よし、
おはかたよりくわしく
申きたり候て、さてく、
大てからなる
事中く候、申
はかり候はず候、

（御坊）

ひさうなるおぼう殿
と、みなくにも
申きかせ、ほめ申候、

（政俊）（政則）

兵介・少五郎
にも此よし心得、
貴殿申され

候べく候、いろく
みやけこしらへ
もち候て、可参候、
せつかくきけん
よく、まち候べく候、
めてたく

かしく、

（忠政）

廿一日 たたまさ

（御坊）

おはう殿 まいる
（政勝）